

**2016年度（2017年3月期）
第2四半期 決算説明資料**



2016年11月9日

株式会社ユニリタ

2016年度 第2四半期 業績のポイント



- 自社製品販売への注力策が奏功し、収益性向上（2Q累計営業利益率21.5%、前年同期比+2.7pt）
- パートナー（販売代理店）への販売強化策が奏功
- 新設子会社（ユニ・トランド）が好調にスタート



- 技術支援サービスの伸び悩み（前年同期比▲13.8%）
- 新規・成長分野は事業貢献に至らず
- 再編した営業体制の立ち上がりの遅れ
- 成長分野における製品開発スピードの遅れ

2016年度 第2四半期 連結業績

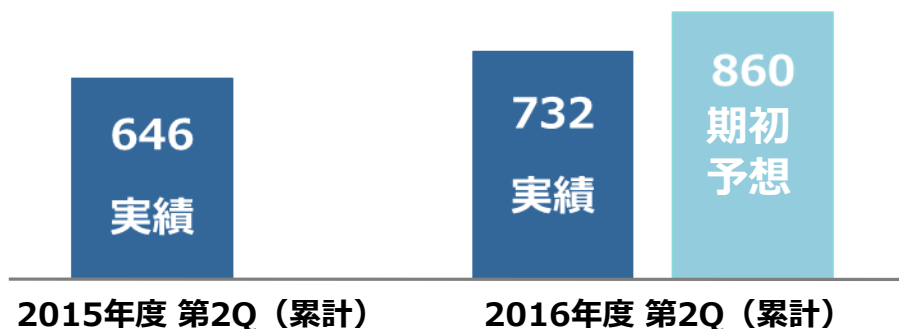
(単位：百万円)



連結売上高 3,410百万円

前年同期比 ▲28百万円 (▲0.8%)
期初予想比 ▲490百万円 (▲12.6%)

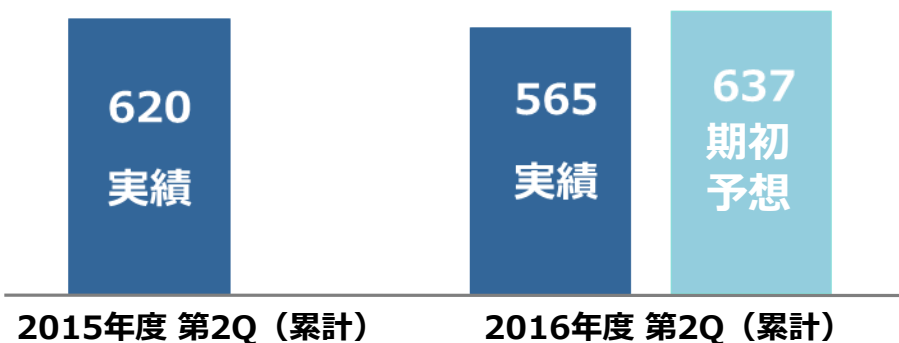
√データ活用、システム運用両事業ともに製品販売、
技術支援が計画未達。



連結営業利益 732百万円

前年同期比 +86百万円 (+13.4%)
期初予想比 ▲128百万円 (▲14.9%)

√売上計画未達に伴う減益。但し、営業利益率は
前年同期比2.7pt向上。



親会社株主に帰属する四半期純利益 565百万円

前年同期比 ▲55百万円 (▲8.8%)
期初予想比 ▲72百万円 (▲11.3%)

√前年同期は、合併に伴う繰越欠損金による
税負担の軽減あり。

2016年度 第2四半期 業績増減要因

(単位：百万円)

売上高

3,438

データ活用
▲23

システム運用
+25

メインフレーム
▲6

その他
▲24

3,410

▲28
(▲0.8%)

2015年度 第2Q (累計)

2016年度 第2Q (累計)

営業利益

646

データ活用
+109

システム運用
+4

メインフレーム
+6

その他
▲33

732

+86
(+13.4%)

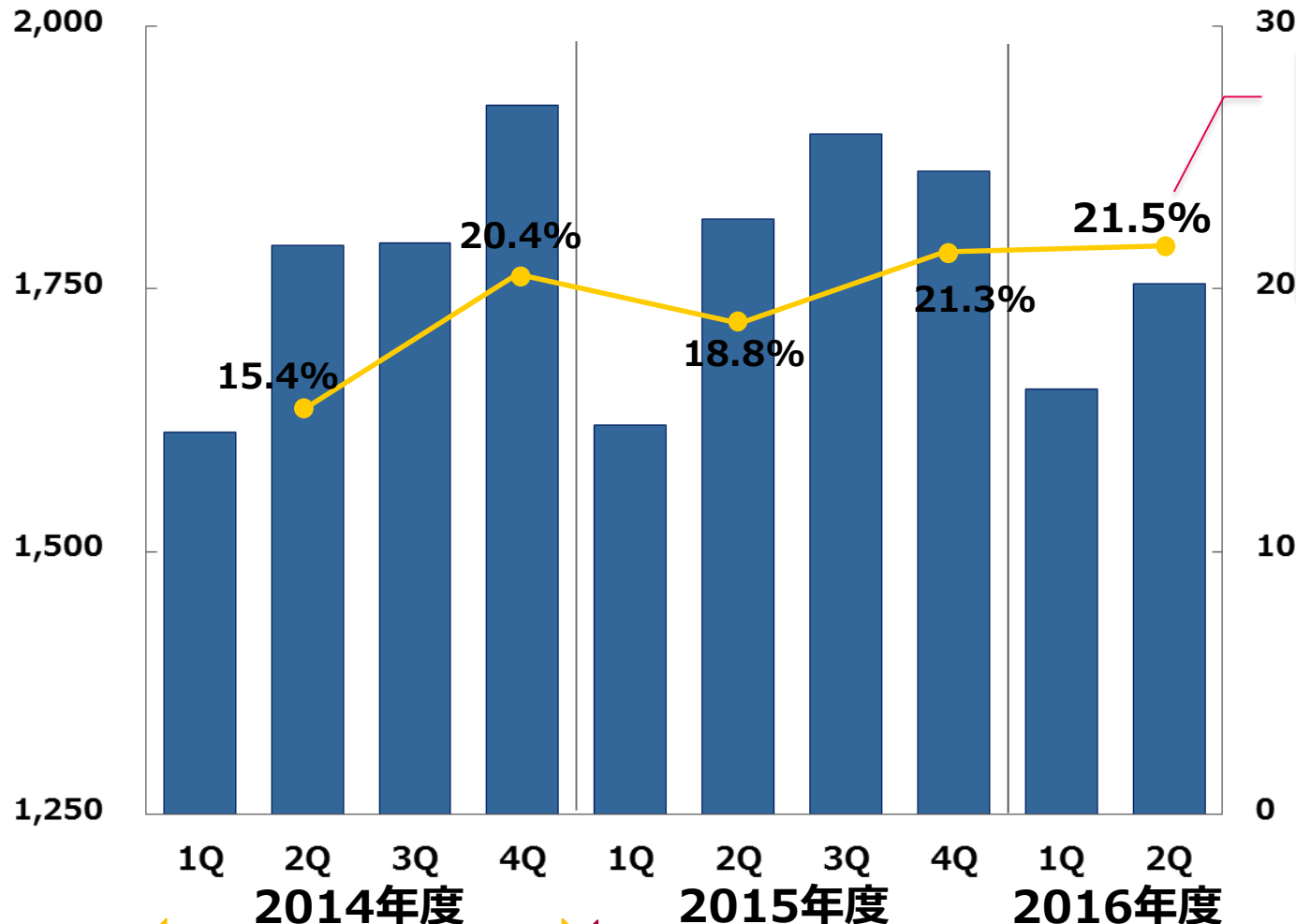
2015年度 第2Q (累計)

2016年度 第2Q (累計)

四半期別の連結売上と累計営業利益率

売上
(百万円)

営業利益率
(%)

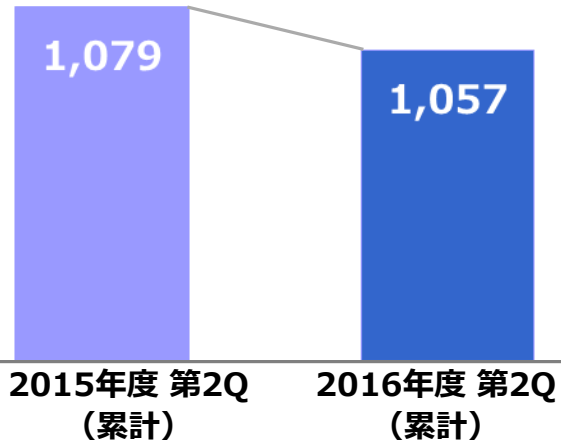


第2四半期(累計)では
ビーコンIT連結後、
利益率は最高に

2016年度 第2四半期 セグメント別業績比較①

(単位：百万円)

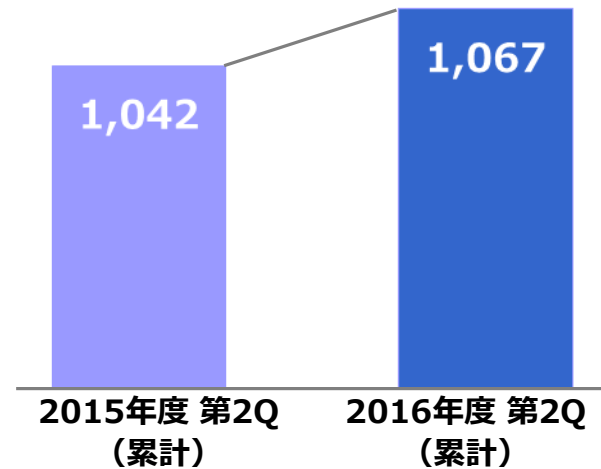
データ活用事業



売上高

前年同期比
▲22百万円
(▲2.1%)

システム運用事業

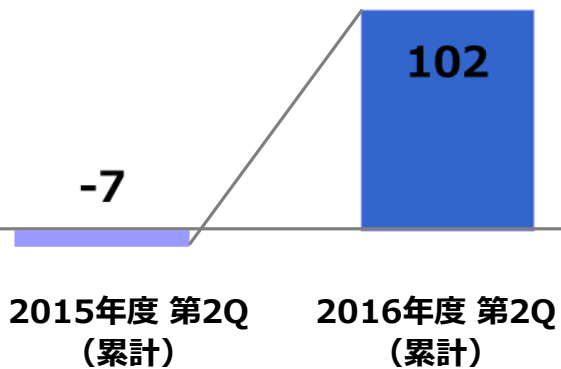


売上高

前年同期比
+25百万円
(+2.4%)

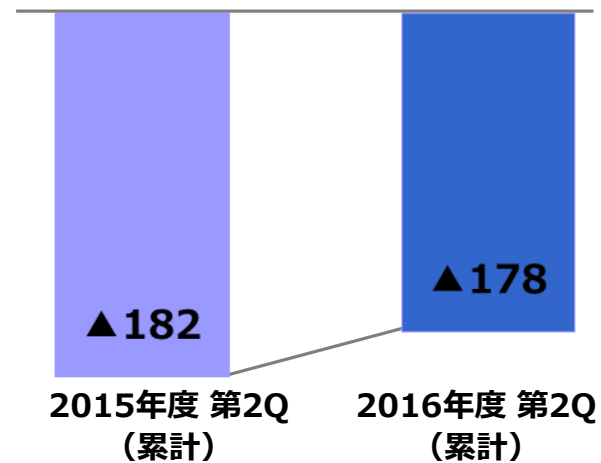
営業利益

前年同期比
+109百万円
の改善



営業利益

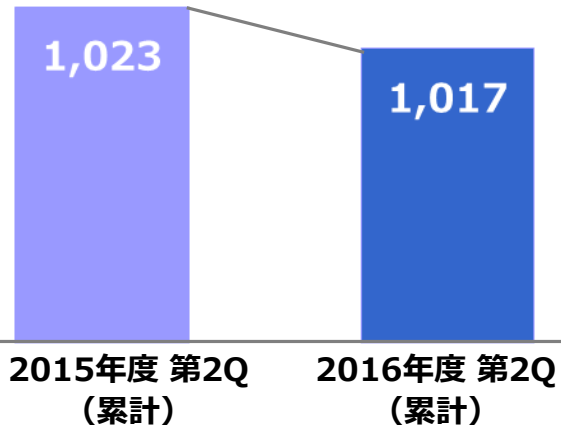
前年同期比
+4百万円
の改善



2016年度 第2四半期 セグメント別業績比較②

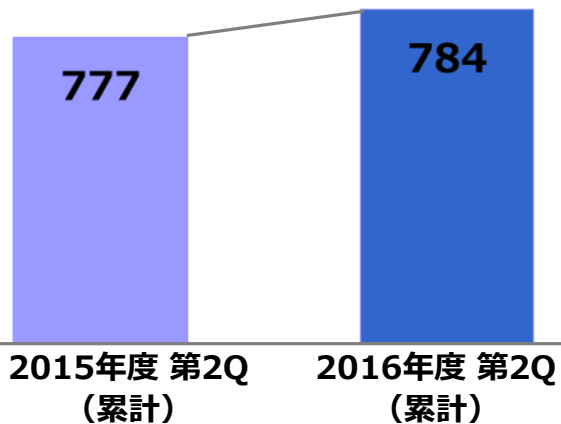
(単位：百万円)

メイン事業



売上高

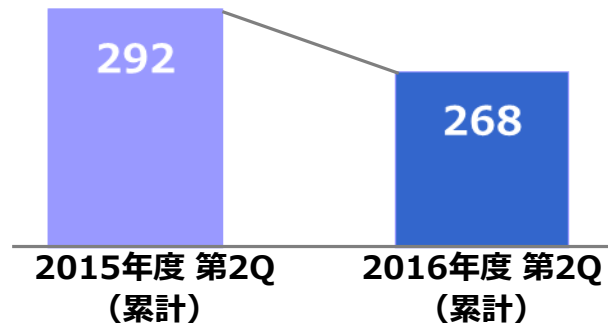
前年同期比
▲6百万円
(▲0.6%)



営業利益

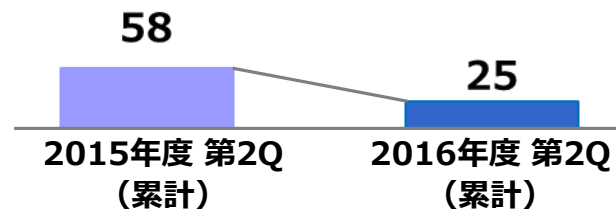
前年同期比
+7百万円
(+0.8%)

その他事業



売上高

前年同期比
▲24百万円
(▲8.3%)



営業利益

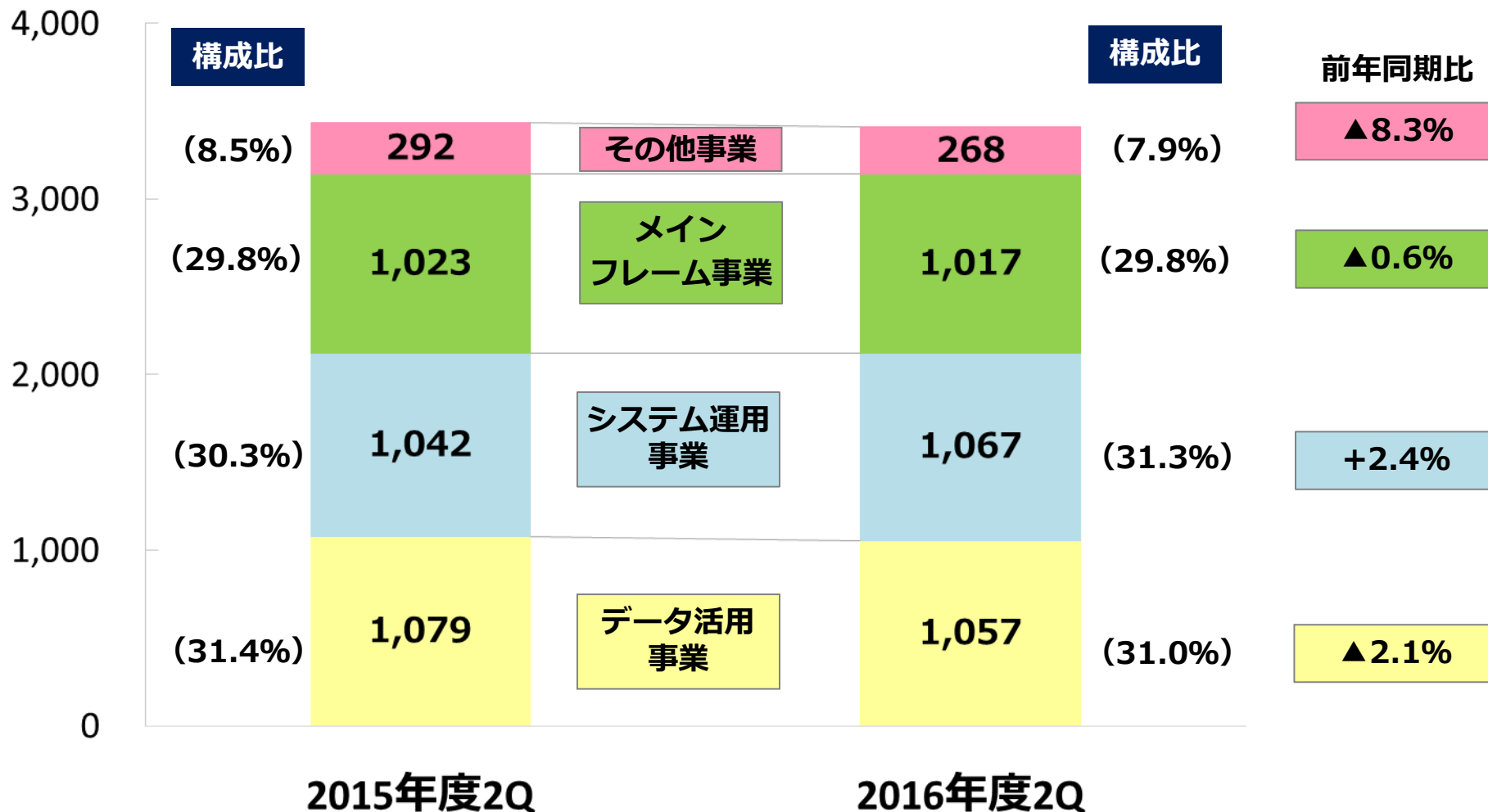
前年同期比
▲33百万円
(▲56.7%)

2016年度 第2四半期 セグメント別売上構成

(単位：百万円)

合計：3,438

合計：3,410



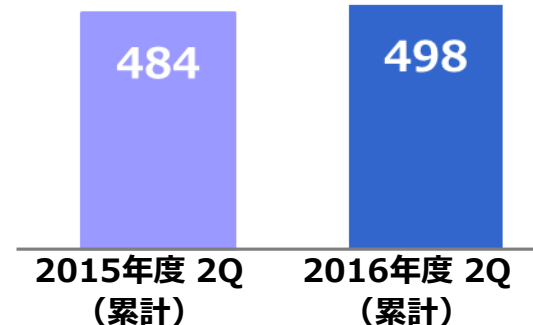
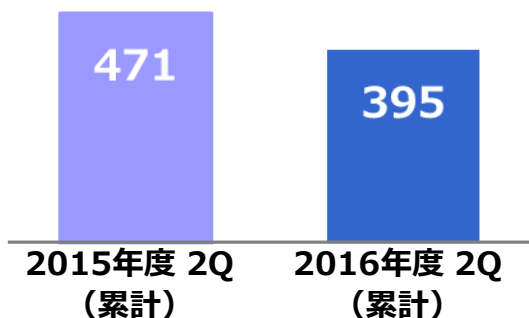
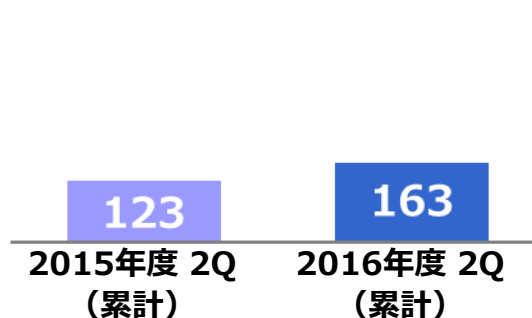
2016年度 第2四半期 セグメント売上内訳比較 (単位：百万円)

<製品>

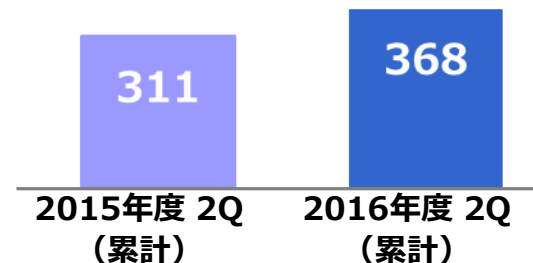
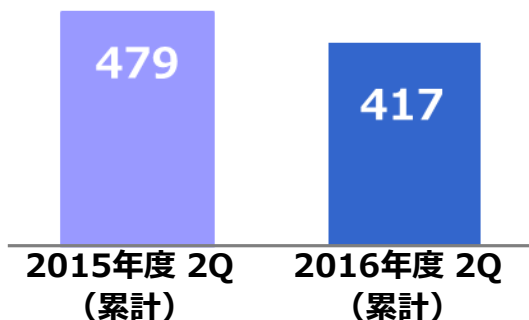
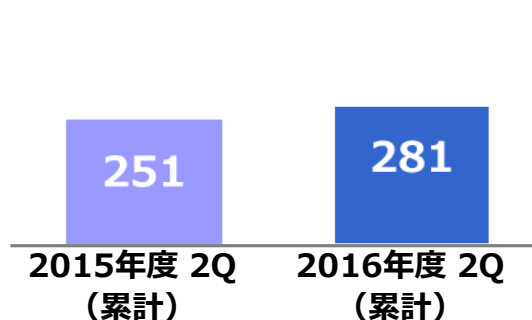
<技術支援>

<保守>

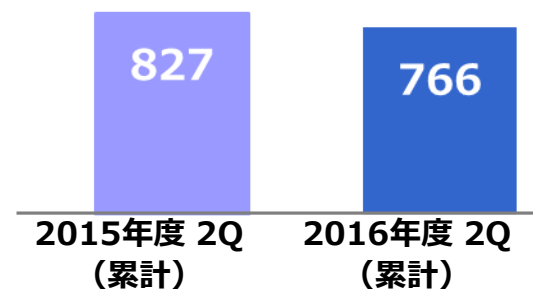
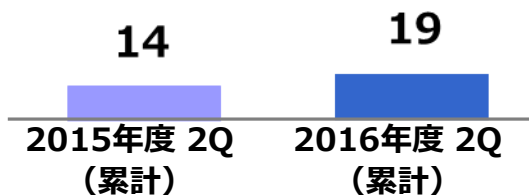
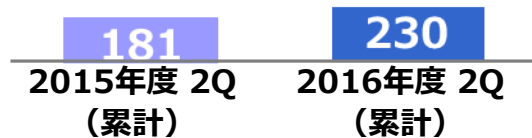
データ活用



システム運用



メインフレーム



既存/新規事業の状況

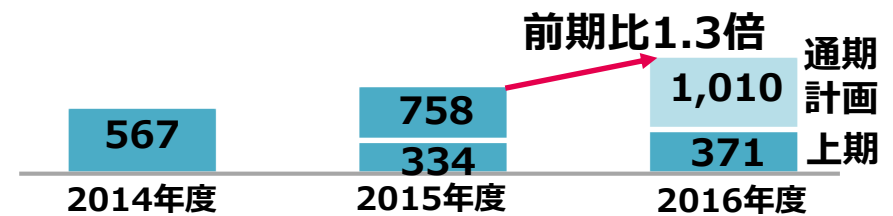
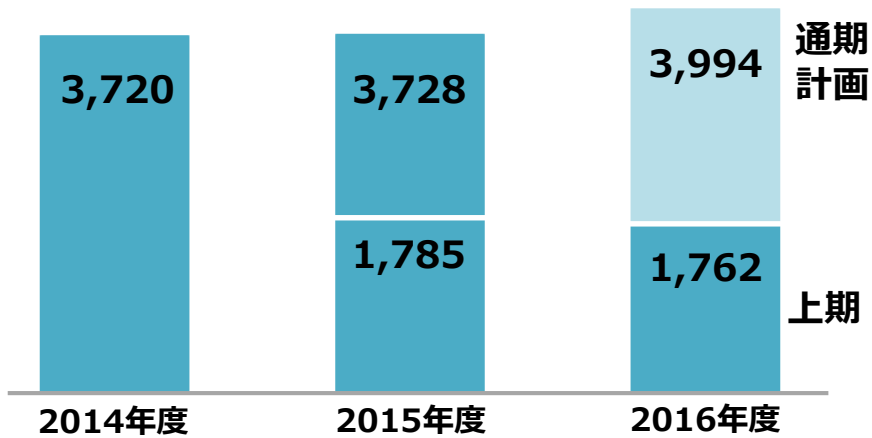
(単位：百万円)

データ活用事業/システム運用事業

メインフレーム, その他事業
を除く

既存事業領域
(自動化、帳票、Waha!、BI、
データ総研、BSOL 他)

新規事業領域
(アウトソーシング、新自動化、
帳票クラウド、DA、wM、BPM、
ITSM、Be.C)



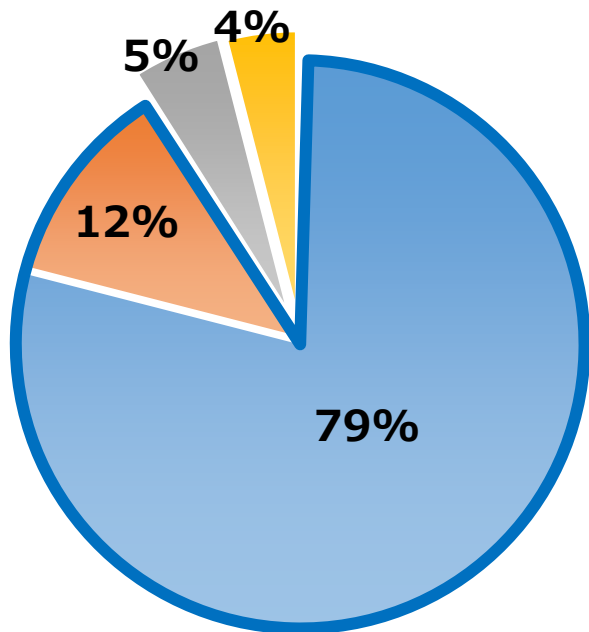
2016年度 上期状況と下期重点施策

- 「営業活動の効率化・生産性向上」への対応
- 「製品販売の変化」への対応
- 「その他の上期課題」への対応
- 「新事業育成・投資」への対応

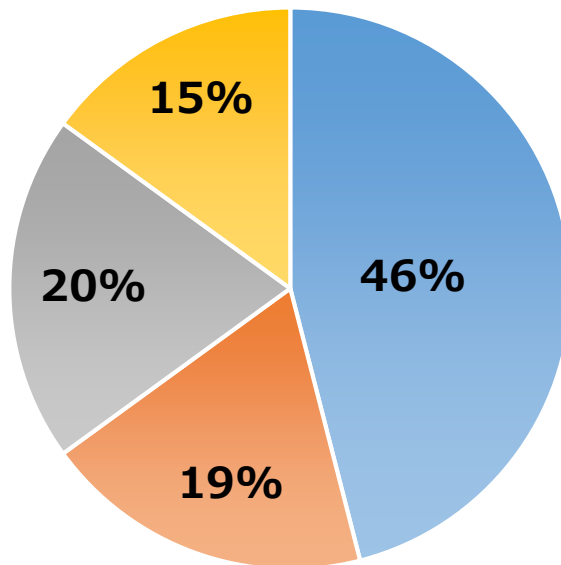
「営業活動の効率化・生産性向上」への対応

上期状況

領域別売上比率



領域別活動量比率



※領域説明

- A領域：市場浸透
(リピート)
- B領域：市場開拓
(ユーザ増加)
- C領域：製品開発
(新製品の主力化)
- D領域：新市場開拓
(新製品による
新ユーザ開拓)

活動量に対する成約率 (売上実績/活動量)

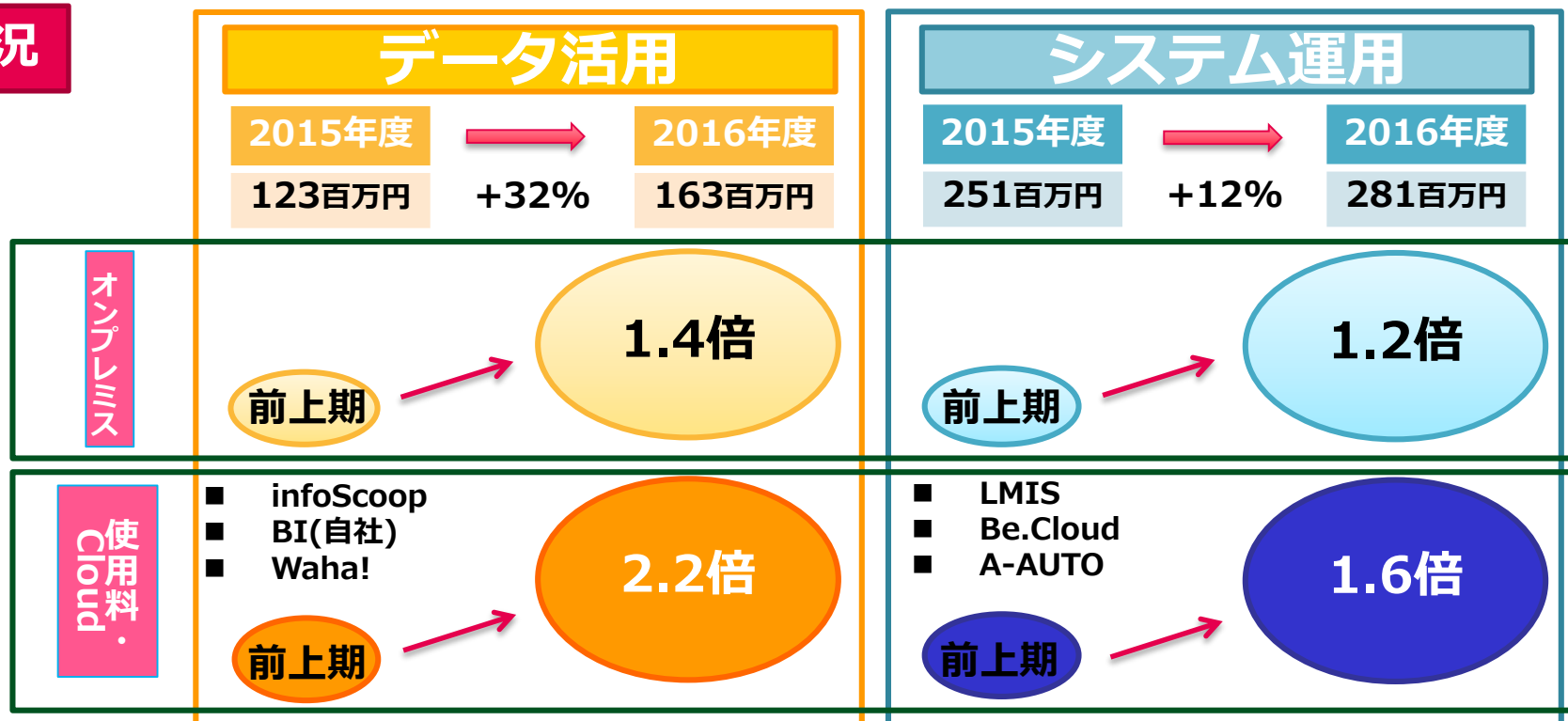
■ A領域：1.79 ■ B領域：0.70 ■ C領域：0.25 ■ D領域：0.26

下期対応

- A,B領域への開発投資とインサイド,パートナー販売の強化
- C,D領域の競争力を高めるための製品開発スピードアップ

製品販売の変化<売上高前年同期比>への対応

上期状況



◆製品販売は前年比伸長 ◆クラウド化への変化が速い

下期対応

- システム運用の自社製品販売力の強化
- オンプレミスから利用料モデルに対応する製品開発の強化

「その他の上期課題」への対応

上期状況

■製品対技術支援（データ活用、システム運用事業） 売上高（百万円） 売上比

	製品	技術支援	製品	技術支援
2015年度上期	374	950	1	2.5
2016年度上期	444	812	1	1.8

- パートナー販売の伸長により、製品販売に付随する技術支援がパートナー経由となったことが主因

下期対応

- 技術支援サービスをリカバリーするために、技術者活動の一部をシフト

「新事業育成・投資」への対応

➤ ユニ・トランドへの積極投資



- ・ IoT型ソリューション開発のための技術者シフト
- ・ データアナリティクスによるIoTデータの分析機能強化

➤ 2016年9月に資本提携した



(株)ピー・ビーシステムズと協働した九州地域の市場開拓

➤ LIVE UNIVERSEの製品力および販売強化



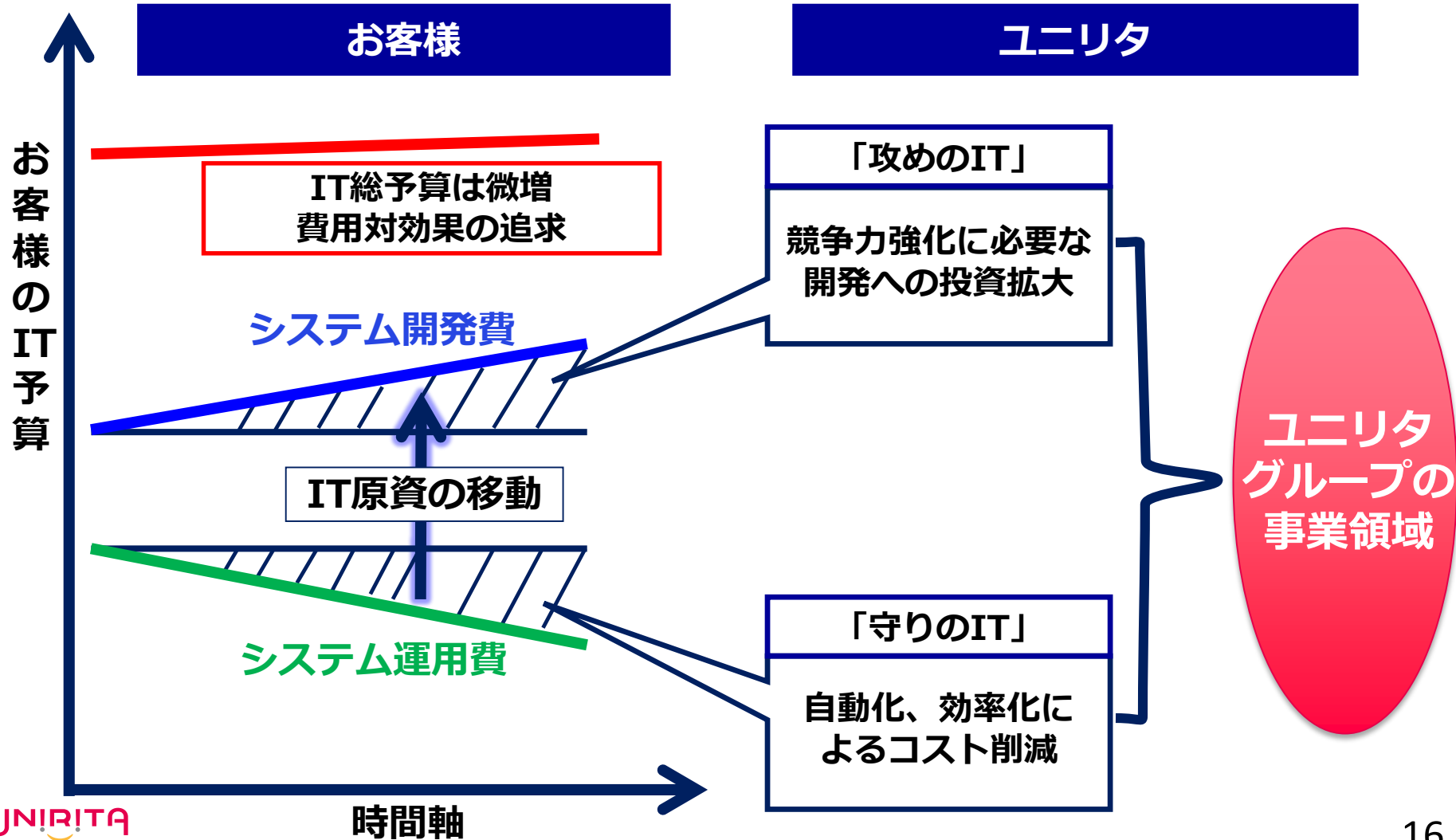
- ・ ゴールデンマジック社との連携による飲食業界開拓

ユニリタグループの事業領域

運用コストを削減し、その費用で攻めのIT投資へ

お客様

ユニリタ



ユニリタ合併効果

BSPが手に入れたモノ

技術力、開発力、品質管理力
間接販売とチャネル
プロモーション力
ビジネス領域の拡大

BeaconITが手に入れたモノ

資金力、収益力
上場企業の社員を守る力
コンプライアンス&ガバナンス
セールスオートメーション

2015年
4月
合併

UNIRITA

現在

挑戦する組織へ

- ・ 新規事業創出
- ・ 子会社への積極投資
- ・ 新人事制度
- ・ 新しい企業文化創り

最強の営業と最強の技術が
集ったIT集団へ

“エーグ”で“利他”独自性ある
企業へ

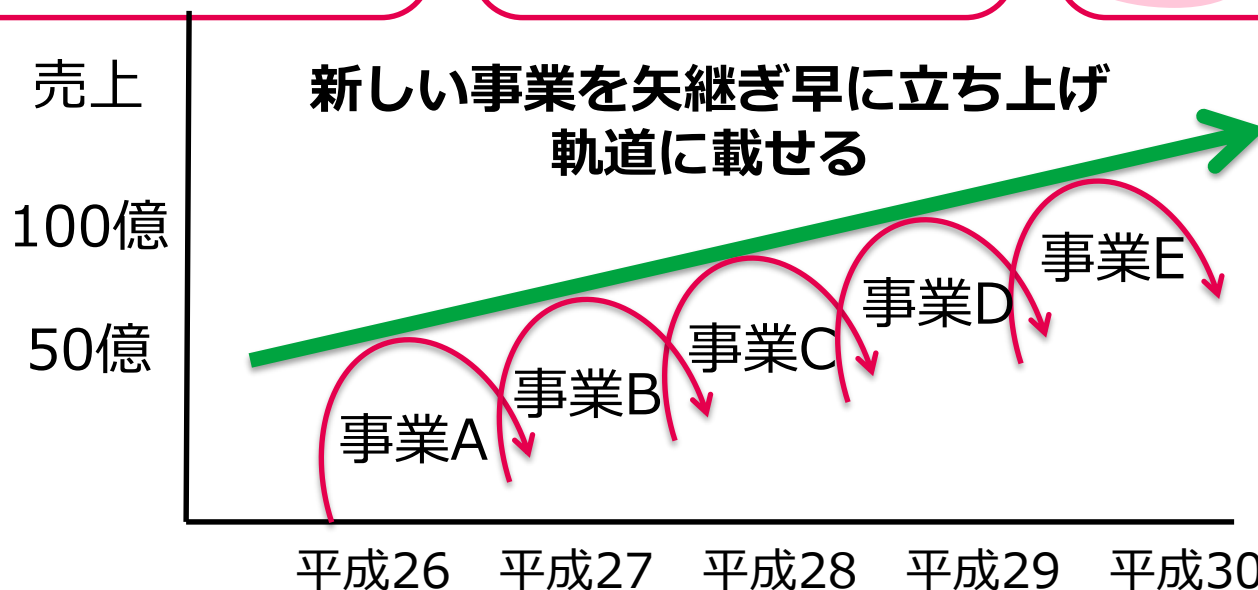
ユニリタグループ持続的競争優位性の実現

新しい事、要件が難しい事を小さく速く始める

アメリカで持続的競争優位性を実現する企業は**全体の3%**

競争優位を持続できる期間は**加速度的に短くなっている**

一時的な優位性を創り出し、**鎖**の様に繋いで持続する



2016年度 連結業績見通し

(単位：百万円)

連結売上高 7,500百万円

前期比 +302百万円 (+4.2%)

期初予想比 ▲700百万円 (▲8.5%)

✓クラウド化へのシフト、上期技術支援の伸び悩み、
新規事業の計画未達により期初売上予想を修正

連結営業利益 1,780百万円

前期比 +249百万円 (+16.2%)

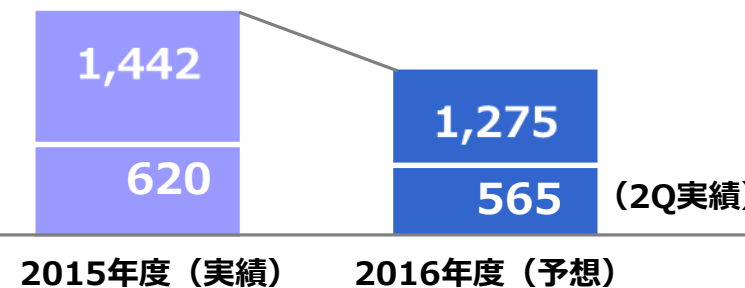
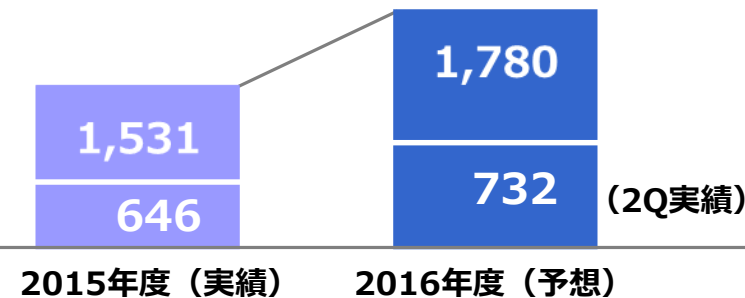
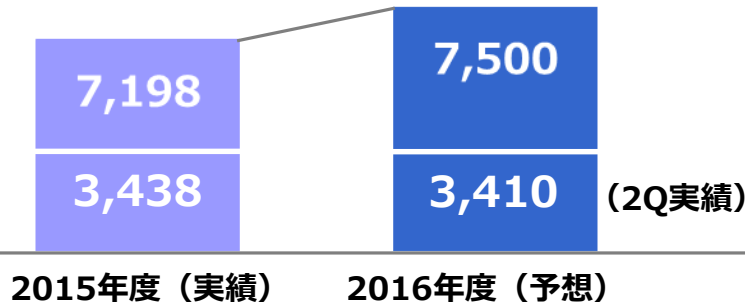
期初予想に修正なし

親会社株主に帰属する当期純利益 1,275百万円

前期比 ▲167百万円 (▲11.6%)

期初予想に修正なし

✓前期は、合併に伴う繰越欠損金による税負担
軽減あり



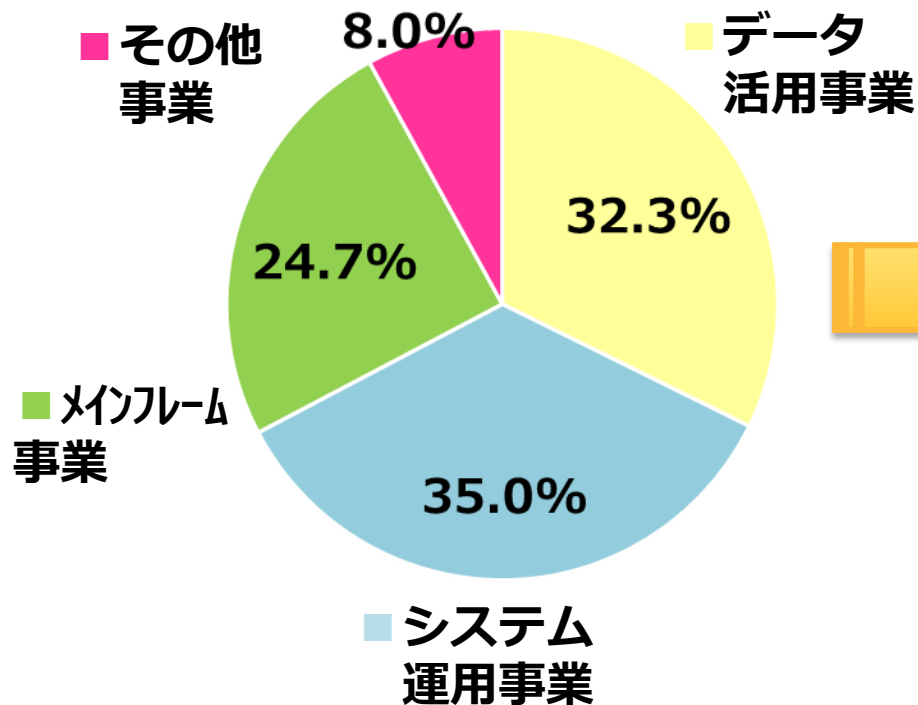
2016年度 連結売上見通し

(単位：百万円)

➤ 連結売上計画を期初計画に対し、7億円下方修正

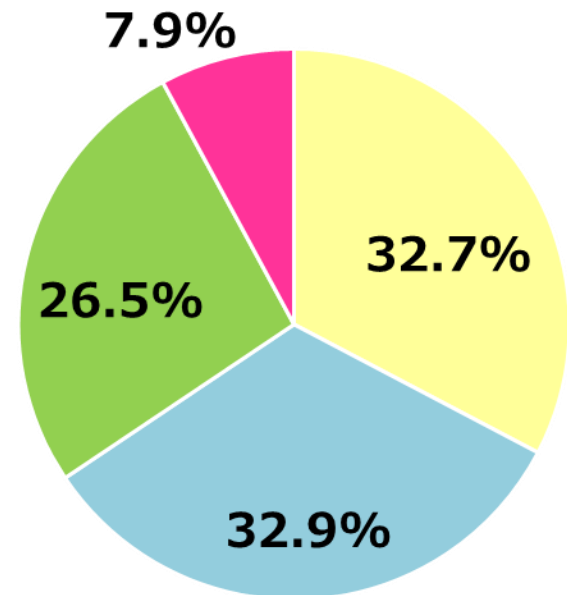
(期初計画)

売上高 8,200百万円
経常利益1,860百万円



(11.4修正)

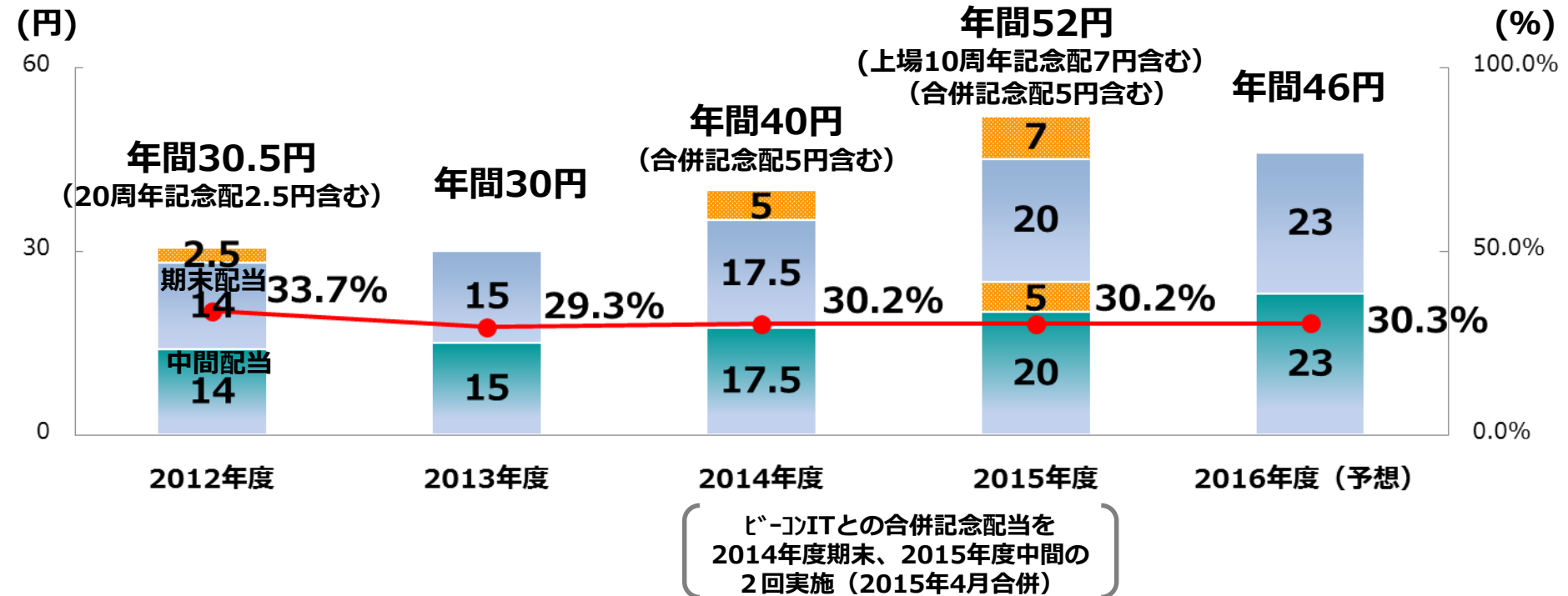
売上高 7,500百万円
経常利益1,860百万円 (変更なし)



	計画	前期比
データ活用事業	2,455	+201
システム運用事業	2,464	+232
メインフレーム事業	1,990	▲133
その他事業	591	+3

業績推移と配当

(単位：百万円)



(単位：百万円)

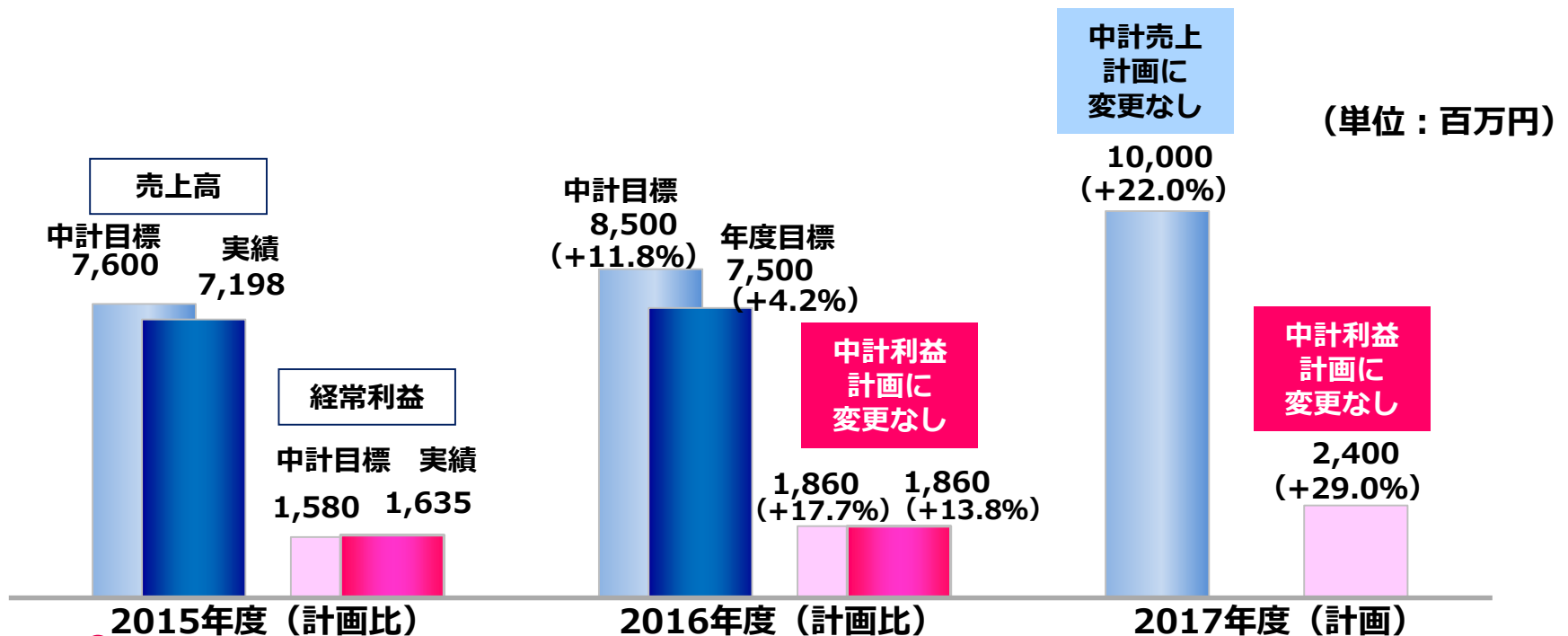
	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度 (予想)
売上高	3,931	4,203	7,125	7,198	7,500
経常利益	1,096	1,241	1,562	1,635	1,860
親会社株主に帰属する当期純利益	709	799	1,014	1,442	1,275

第2次中期経営計画

- ユニリタグループで売上100億円企業を目指す

第2次中期経営計画

<2015年度 — 2017年度>
「10 billion Empathy Plan」
お客様からの共感を得て、売上100億円へ挑戦



參考資料

2016年度 第2四半期 連結業績（前年同期比）

（単位：百万円）

区分	2015年度 2Q		2016年度 2Q		前年同期比	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減率
売上高	3,438		3,410		▲28	▲0.8%
売上原価	866	25.2%	887	26.0%	+21	+2.4%
販売費及び一般管理費	1,926	56.0%	1,789	52.5%	▲137	▲7.1%
営業利益	646	18.8%	732	21.5%	+86	+13.3%
経常利益	737	21.4%	813	23.8%	+76	+10.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	620	18.0%	565	16.6%	▲55	▲8.8%

2016年度 第2四半期 売上高の内訳 (セグメント別)

(単位：百万円)

		2015年度 2Q実績	2016年度 2Q実績	(百万円)	
				前年同期比	
				増減額	増減率
データ活用事業	製品	123	163	+40	+32.5%
	技術支援	471	395	▲ 76	▲ 16.1%
	保守料	484	498	+14	+2.9%
	小計	1,079	1,057	▲ 22	▲ 2.0%
システム運用事業	製品	251	281	+30	+12.0%
	技術支援	479	417	▲ 62	▲ 12.9%
	保守料	311	368	+57	+18.3%
	小計	1,042	1,067	+25	+2.4%
メインフレーム事業	製品	181	230	+49	+27.1%
	技術支援	14	19	+5	+35.7%
	保守料	827	766	▲ 61	▲ 7.4%
	小計	1,023	1,017	▲ 6	▲ 0.6%

2016年度 第2四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2015 年度末	2016 年度2Q	増減額		2014 年度末	2015 年度2Q	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産				流動負債合計	2,129	2,349	+220
現金及び預金	6,878	7,762	+884	固定負債合計	361	315	▲ 46
流動資産合計	10,072	10,581	+509	負債合計	2,491	2,664	+173
固定資産				(純資産の部)			
有形固定資産	134	128	▲ 6	株主資本合計	9,846	10,185	+339
無形固定資産	217	216	▲ 1	内 利益剰余金	6,487	6,826	+339
ソフトウェア	214	213	▲ 1	その他の包括利益 累計額合計	172	172	0
投資その他	2,086	2,097	+11	非支配株主持分	-	-	-
固定資産合計	2,438	2,441	+3	純資産合計	10,019	10,358	+339
資産合計	12,511	13,023	+512	負債純資産合計	12,511	13,023	+512

2016年度 連結業績見通し

(単位：百万円)

区分	2015年度		2016年度		前期比	
	実績	売上比	予想	売上比	増減額	増減率
売上高	7,198	-	7,500	-	+302	+4.2%
営業利益	1,531	21.3%	1,780	23.7%	+249	+16.2%
経常利益	1,635	22.7%	1,860	24.8%	+225	+13.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,442	20.0%	1,275	17.0%	▲167	▲11.6%
1株当たり配当額（円）※	52.00	-	46.00	-	▲6.00	-
配当性向	30.2%	-	30.3%	-	-	+0.1pt

※普通配当（中間、期末各々）：2015年度 20円00銭 → 2016年度 23円00銭



ご注意

※本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき、当社が判断したものであり、今後、内外の経済情勢や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により、変動することがあります。

従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。

※本資料に掲載されているサービスおよび製品などは、株式会社ユニリタあるいは各社の登録商標または商標です。